

企業価値向上に資する知財経営の普及啓発に関する調査研究

～経営デザインによる知財経営の普及支援事業について～

植田 高盛

特許庁 総務部企画調査課 特許戦略企画調整官



企業価値向上に資する知財経営の普及啓発に関する調査研究

- 調査対象企業において、**経営層と知財部門を含む企業内チームとの十分な意思疎通・連携**のもと、**中長期的な事業成長に資する知財戦略**を知財情報を活用しつつ**策定・実践**することを通じ、知財経営を企業に浸透させるために必要な事項を調査研究。

経営層（幹部候補者）向け現地調査の実施

派遣チーム



経営
コンサルタント



知財
コンサルタント

オプション派遣



知財情報分析
アドバイザー

- 「As is」における知財の果たす役割の認識
- 「To be」及び「To be」における知財の果たす役割の構想
- 「As is」から「To be」への移行のための知財戦略の策定

- 知財情報ツール活用及び分析の支援

調査対象企業

募集中



経営層等

- 十分な意思疎通・連携

企業内チーム

知財部門

事業部門

経営企画部門

- 経営デザインシート等を活用した知財と価値創造メカニズムとの関係の認識
- 知財情報による裏付け

経営層による座談会の実施



- 現地調査の経験や成果について経営層どうして共有
- 知財経営の在り方等について議論

報告書の作成



- 知財経営の在り方に関する提言
- 知財経営リテラシーに関するチェックリスト
- 仮想事例集、ケーススタディ集 など

本調査研究の目的

◆ 知財経営を推進している企業の特徴

- ✓ **経営層が** 企業や事業の成長戦略との関係で、知的財産の役割や事業への貢献について理解している。
- ✓ **知財部門が** 経営層の思い描く企業や事業の将来像（To be）を、現状（As is）との対比において理解している。

◆ 本事業の目的

- ✓ これが実現されるに至った経営層と知財部門との**コミュニケーション**のプロセスを明らかにして、事例として展開することで、知財経営の普及を図ることを目的としています。